

ダイワSociety 5.0関連株ファンド (資産成長型) (予想分配金提示型) (愛称：スマートテクノロジー)

<2744> <2745>

(資産成長型)追加型投信／内外／株式

日経新聞掲載名：スマテク資産

(予想分配金提示型)追加型投信／内外／株式

日経新聞掲載名：スマテク予想

(資産成長型)

第1期 2021年1月19日決算

(予想分配金提示型)

第1期 2020年8月19日決算 第4期 2020年11月19日決算

第2期 2020年9月23日決算 第5期 2020年12月21日決算

第3期 2020年10月19日決算 第6期 2021年1月19日決算

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、日本を含む世界の株式を投資対象とする複数の投資信託証券に投資し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

(資産成長型)

第1期末	基準価額	12,581円
	純資産総額	67,410百万円
第1期	騰落率	25.8%
	分配金	0円

(予想分配金提示型)

第6期末	基準価額	11,694円
	純資産総額	19,116百万円
第1期～第6期	騰落率	25.8%
	分配金合計	800円


(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

運用報告書に関するお問い合わせ先

 コールセンター 受付時間 9:00～17:00 (営業日のみ)
0120-106212

お客様の口座内容に関するご照会は、
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書(全体版)」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

◇SKU0274420210119◇

「運用報告書(全体版)」の閲覧・ダウンロード方法

上記のURLにアクセス → ファンド検索欄にファンド名を入力 → リストから当ファンドを選択 → 運用報告書(全体版)を選択

投資ユニバースの概要

下記はマザーファンドの投資ユニバースに含まれている投資信託証券について、2020年6月現在で委託会社が各投資信託証券の運用会社から入手した情報をもとに記載したものであり、今後、名称変更となる場合、繰上償還等により投資信託証券が除外される場合、新たな投資信託証券が追加となる場合等があります。

コンセプト	投資信託証券	実質的な投資対象
支える技術 (デジタル基盤技術等)	グローバルIoT関連株ファンド(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)	世界の株式
	テクノロジー株式ファンド(適格機関投資家専用)	米国の株式
	三菱UFJ国際サイバーセキュリティ株式オープン(為替ヘッジなし)(FOFs用)(適格機関投資家限定)	世界の株式
	グローバルX AI&ビッグデータETF(米国籍、米ドル建)(※1)	世界の株式
健康的な暮らし (医療等)	フィデリティ・世界医療機器関連株ファンド・セレクト(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)	世界の株式
	Nikkoam FOFs用グローバル全生物ゲノム株式ファンド(適格機関投資家向け)	世界の株式
	グローバルX長寿・高齢社会ETF(米国籍、米ドル建)(※2)	世界の株式
便利な暮らし (省力化等)	アクサIM・グローバル・フィンテック関連株式ファンド(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)	世界の株式
	アクサIM・グローバル・ロボット関連株式ファンド(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)	世界の株式
	SMDAM・グローバルEV関連株ファンド(FOFs用)(適格機関投資家専用)	世界の株式
豊かな暮らし (消費・サービス等)	SMDAM・フード・テクノロジー株式ファンド(FOFs用)(適格機関投資家専用)	世界の株式
	Nikkoam FOFs用グローバル・モビリティ・サービス株式ファンド(適格機関投資家向け)	世界の株式
	グローバルX eコマースETF(米国籍、米ドル建)(※3)	世界の株式
	グローバルX ヒーローズ(ゲーム&eスポーツ)ETF(米国籍、米ドル建)(※4)	世界の株式
	グローバルX クラウド・コンピューティングETF(米国籍、米ドル建)(※5)	世界の株式
	グローバルX ソーシャルメディアETF(米国籍、米ドル建)(※6)	世界の株式

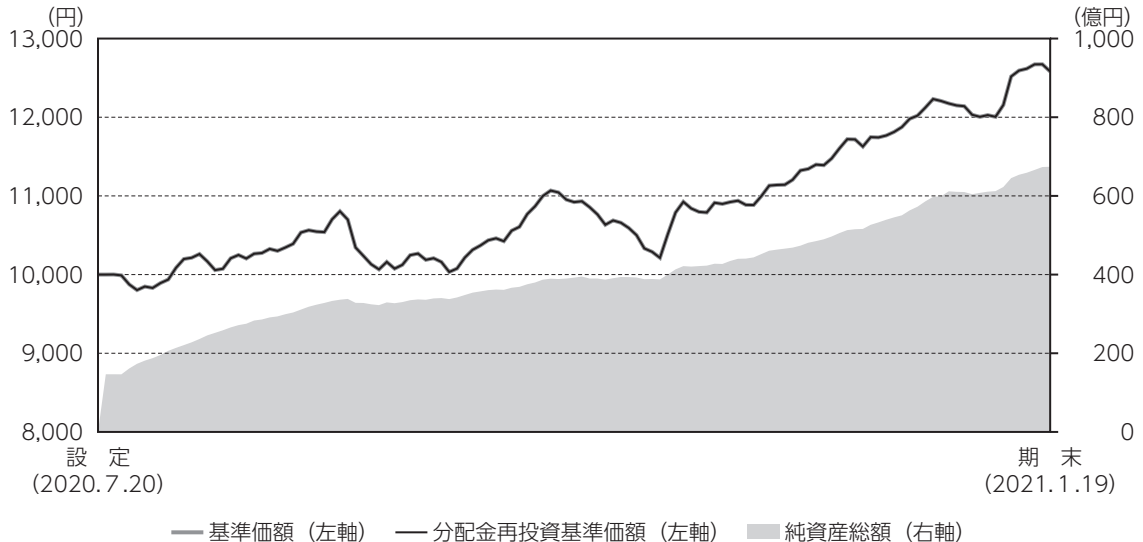
- ※1 「GLOBAL X ART INTEL & TECH」という場合があります。
- ※2 「GLOBAL X LONGEVITY THEMATIC」という場合があります。
- ※3 「GLOBAL X E-COMMERCE ETF」という場合があります。
- ※4 「GLOBAL X VIDEO GAMES& ESPORT」という場合があります。
- ※5 「GLOBAL X CLOUD COMPUTING ETF」という場合があります。
- ※6 「GLOBAL X SOC MED」という場合があります。

資産成長型



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

設定時：10,000円

期末：12,581円（分配金0円）

騰落率：25.8%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

マザーファンドの受益証券を通じて、Society 5.0をテーマに日本を含む世界の株式を投資対象とする複数の投資信託証券に投資した結果、組入ファンドの騰落率と組入状況から、Nikkoam FOFs用グローバル全生物ゲノム株式ファンド（適格機関投資家向け）やグローバルX ヒーローズ（ゲーム&eスポーツ）ETF（米国籍、米ドル建）などの基準価額の上昇がプラス要因となって当ファンドの基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

1万口当りの費用の明細

項 目	当期 (2020.7.20~2021.1.19)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	62円	0.565%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10,878円です。
(投 信 会 社)	(18)	(0.166)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(42)	(0.388)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.011)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	5	0.049	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(投 資 信 託 受 益 証 券)	(5)	(0.049)	
有 価 証 券 取 引 税	0	0.000	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(投 資 信 託 受 益 証 券)	(0)	(0.000)	
そ の 他 費 用	0	0.003	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(0)	(0.001)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	67	0.618	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

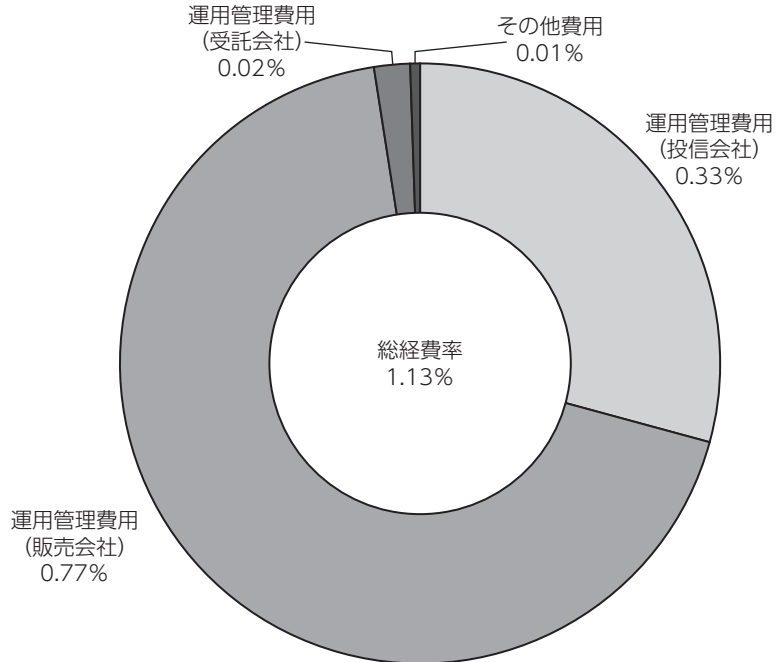
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.13%です。

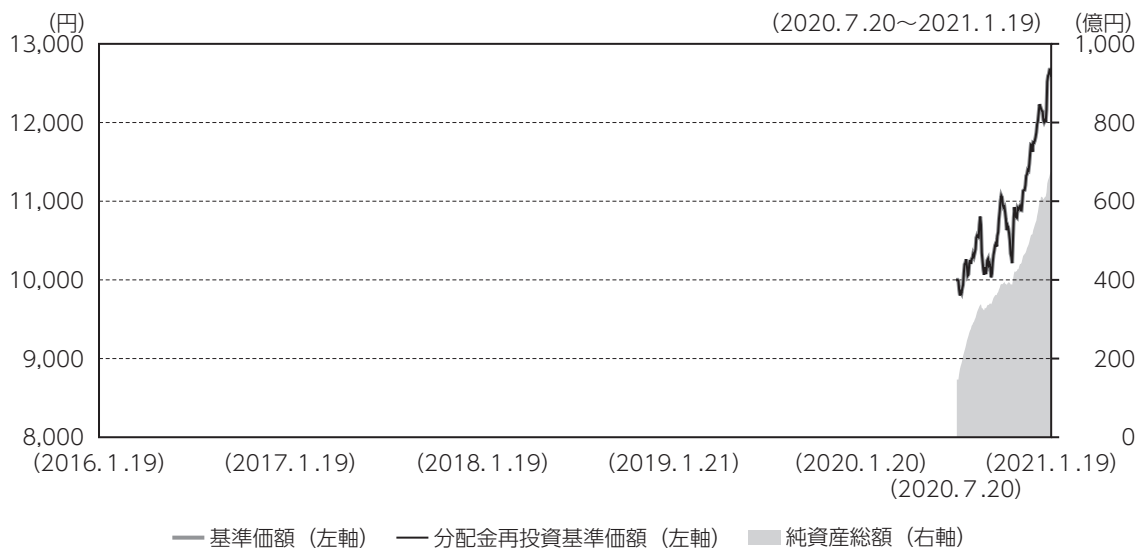


(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

最近5年間の基準価額等の推移について



		2020年7月20日 設定	2021年1月19日 決算日
基準価額	(円)	10,000	12,581
期間分配金合計（税込み）	(円)	—	0
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	—	25.8
純資産総額	(百万円)	14,658	67,410

(注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

(注2) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

投資環境について

(2020.7.20~2021.1.19)

■グローバル株式市況

グローバル株式市況は上昇しました。

グローバル株式市況は、当作成期首より、経済指標の改善を受けた世界的な景気回復期待や米国の追加景気対策への根強い期待から上昇しました。2020年9月以降は、米国での追加経済対策法案の早期成立期待の後退や、新型コロナウイルスワクチン開発の停滞、欧州における感染再拡大や一部行動制限措置の再施行などを受けて下落しました。11月以降は、米国大統領選挙の結果に対する不確実性が後退したこと、米国や英国においてワクチン接種が始まったことなどを受けて上昇基調となりました。

■為替相場

為替相場は、米ドルが下落（円高）した一方、ユーロなどは対円で上昇（円安）しました。

当作成期首より、米中関係の悪化などから米ドルは対円で下落しましたが、2020年8月には新型コロナウイルスに関する懸念が和らぎ、市場のリスク選好度が高まったことで円安となりました。9月以降は、感染再拡大などから市場のリスク回避姿勢が強まり、円高となりました。11月以降は、米国の追加経済対策を受けた財政赤字の拡大観測や金融緩和政策の継続を背景に、米ドルは対円で下落基調となりました。

ユーロなどは、新型コロナウイルスのワクチン接種が始まったことや英国とEU（欧州連合）の通商交渉の進展などから市場のリスク選好度が高まったことで対円で上昇しました。

ポートフォリオについて

(2020.7.20~2021.1.19)

■当ファンド

「Society 5.0関連株マザーファンド」の受益証券を通じて、Society 5.0（※）をテーマに日本を含む世界の株式を投資対象とする複数の投資信託証券に投資し、信託財産の成長をめざして運用を行いました。

■Society 5.0関連株マザーファンド

当ファンドにおける投資信託証券の選定および組入比率の決定にあたっては、以下の方針を基本として運用を行いました。

- イ. Society 5.0に合致する投資信託証券を選定し、投資対象の投資信託証券としました。
- ロ. Society 5.0を「支える技術（デジタル基盤技術等）」「健康的な暮らし（医療等）」「便利な暮らし（省力化等）」「豊かな暮らし（消費・サービス等）」の4つのコンセプトに分け、それぞれの成長性を考慮して、各コンセプトへの投資配分を決定しました。
- ハ. 投資対象の投資信託証券の中から、成長性を考慮して組入投資信託証券を選定し、各コンセプト

内における投資配分を決定しました。

二、投資対象の投資信託証券、各コンセプトへの投資配分、組入投資信託証券およびその投資配分については、適宜見直しを行いました。

※Society 5.0とは、Society 1.0（狩猟社会）、Society 2.0（農耕社会）、Society 3.0（工業社会）、Society 4.0（情報社会）に続く、未来社会のモデルを意味する言葉です。科学技術の高度な発展を基盤として様々な困難や課題を解決し、利便性の高い社会を実現することが期待されています。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期は、経費控除後の配当等収益が少額だったため、収益分配を見送らせていただきました。なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2020年7月20日 ～2021年1月19日	
当期分配金（税込み） (円)	—	
対基準価額比率 (%)	—	
当期の収益 (円)	—	
当期の収益以外 (円)	—	
翌期繰越分配対象額 (円)	2,580	

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

■当ファンド

「Society 5.0関連株マザーファンド」の受益証券を通じて、Society 5.0をテーマに日本を含む世界の株式を投資対象とする複数の投資信託証券に投資し、信託財産の成長をめざして運用を行います。

■Society 5.0関連株マザーファンド

当ファンドにおける投資信託証券の選定および組入比率の決定にあたっては、以下の方針を基本として運用を行います。

- イ. Society 5.0に合致する投資信託証券を選定し、投資対象の投資信託証券とします。
- ロ. Society 5.0を「支える技術（デジタル基盤技術等）」「健康的な暮らし（医療等）」「便利な暮らし（省力化等）」「豊かな暮らし（消費・サービス等）」の4つのコンセプトに分け、それぞれの成長性を考慮して、各コンセプトへの投資配分を決定します。
- ハ. 投資対象の投資信託証券の中から、成長性を考慮して組入投資信託証券を選定し、各コンセプト内における投資配分を決定します。
- ニ. 投資対象の投資信託証券、各コンセプトへの投資配分、組入投資信託証券およびその投資配分については、適宜見直しを行います。

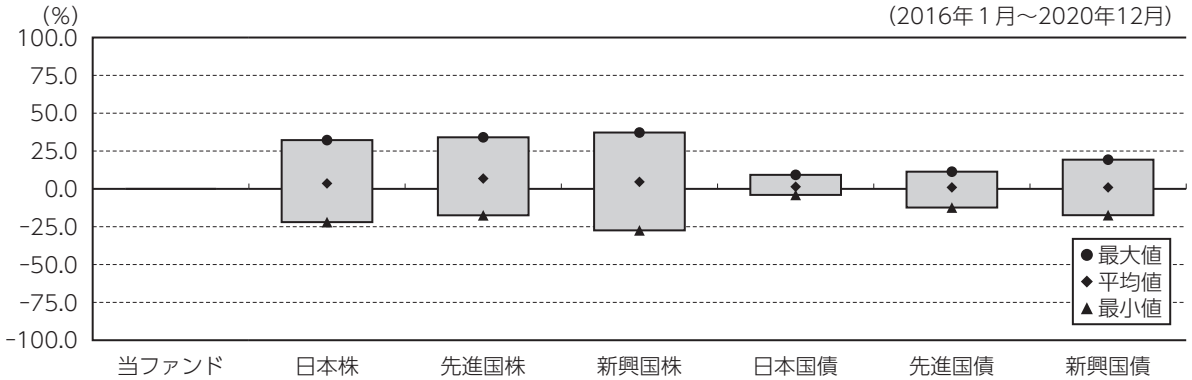


当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	約5年間（2020年7月20日～2025年7月18日）	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	Society 5.0関連株マザーファンドの受益証券
	Society 5.0関連株マザーファンド	Society 5.0をテーマに日本を含む世界の株式を投資対象とする複数の投資信託証券
マザーファンドの運用方法	<p>①主として、Society 5.0をテーマに日本を含む世界の株式を投資対象とする複数の投資信託証券に投資し、信託財産の成長をめざします。</p> <p>※Society 5.0とは、Society 1.0（狩猟社会）、Society 2.0（農耕社会）、Society 3.0（工業社会）、Society 4.0（情報社会）に続く、未来社会のモデルを意味する言葉です。科学技術の高度な発展を基盤として様々な困難や課題を解決し、利便性の高い社会を実現することが期待されています。</p> <p>②投資信託証券の選定および組入比率の決定にあたっては、以下の方針を基本とします。</p> <p>イ. Society 5.0に合致する投資信託証券を選定し、投資ユニバースとします。</p> <p>ロ. Society 5.0を「支える技術（デジタル基盤技術等）」「健康的な暮らし（医療等）」「便利な暮らし（省力化等）」「豊かな暮らし（消費・サービス等）」の4つのコンセプトに分け、それぞれの成長性を考慮して、各コンセプトへの投資配分を決定します。</p> <p>ハ. 投資ユニバースの中から、競争優位性等を考慮して投資信託証券を選定し、各コンセプト内における投資配分を決定します。</p> <p>ニ. 投資ユニバース、各コンセプトへの投資配分、投資を行なう投資信託証券については、適宜見直しを行ないません。</p> <p>③投資信託証券の組入比率の合計は、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。</p> <p>④為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>	
分配方針	<p>分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。</p>	



代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	—	32.2	34.1	37.2	9.3	11.4	19.3
平均値	—	3.6	6.8	4.6	1.4	1.0	1.0
最小値	—	△22.0	△17.5	△27.4	△4.0	△12.3	△17.4

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

- ①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。
- ②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。
- ③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※資産クラスについて

日本株……………東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI国債

先進国債……………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●TOPIXは東証が算出・公表し、指数値、商標など一切の権利は株式会社東京証券取引所が所有しています。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。●NOMURA-BPI国債は、野村證券株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村證券株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。



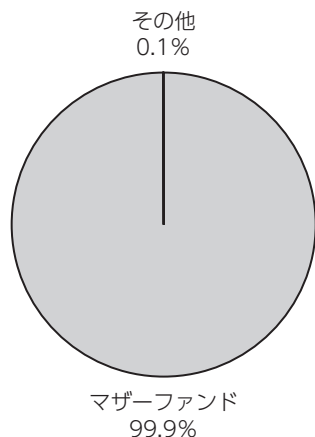
ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

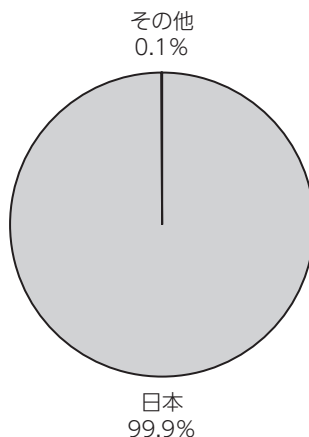
■組入ファンド等

	比 率
Society 5.0関連株マザーファンド	99.9%
その他	0.1

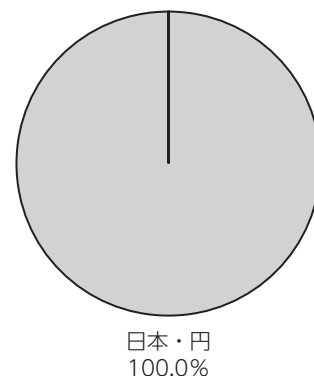
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注1) 上記データは2021年1月19日現在のものです。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

※当ファンドは、上記組入ファンドを通じて実質的な運用を行っています。次ページの「組入上位ファンドの概要」には、組入上位3ファンドまでのファンドの内容を掲載しています。

純資産等

項 目	当 期 末
	2021年1月19日
純資産総額	67,410,321,886円
受益権総口数	53,583,176,534口
1万口当り基準価額	12,581円

*当期中における追加設定元本額は41,442,741,433円、同解約元本額は2,517,752,672円です。

*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

組入上位ファンドの概要

◆Society 5.0関連株マザーファンド

「Society 5.0関連株マザーファンド」は、2021年1月19日現在、第1期決算を迎えておりません。

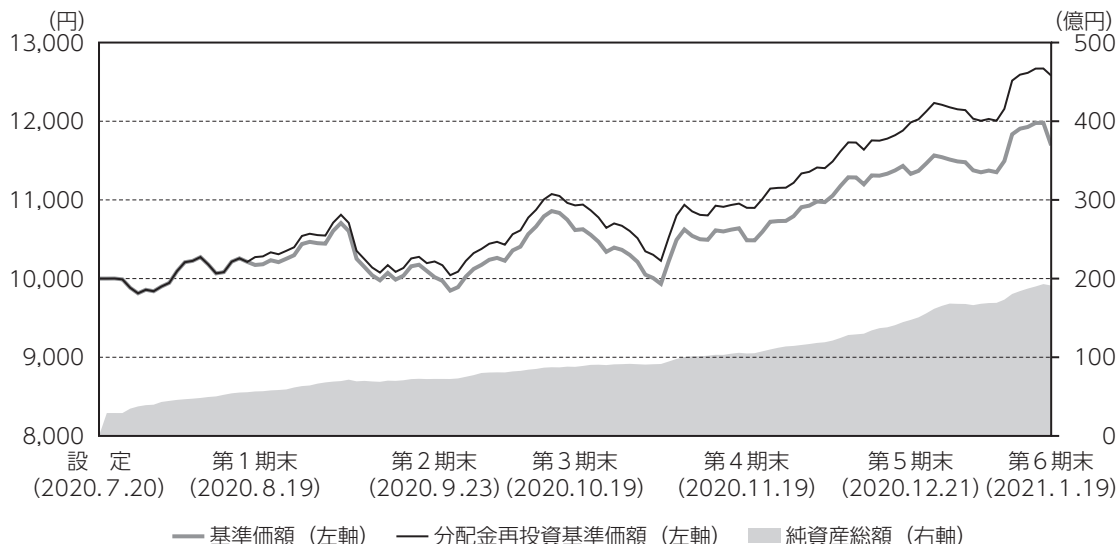
*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

予想分配金提示型



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

設定時：10,000円

第6期末：11,694円（既払分配金800円）

騰落率：25.8%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

マザーファンドの受益証券を通じて、Society 5.0をテーマに日本を含む世界の株式を投資対象とする複数の投資信託証券に投資した結果、組入ファンドの騰落率と組入状況から、Nikkoam FOFs用グローバル全生物ゲノム株式ファンド（適格機関投資家向け）やグローバルX ヒーローズ（ゲーム&eスポーツ）ETF（米国籍、米ドル建）などの基準価額の上昇がプラス要因となって当ファンドの基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

1万口当りの費用の明細

項 目	第1期～第6期 (2020.7.20～2021.1.19)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	60円	0.564%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10,622円です。
(投 信 会 社)	(18)	(0.166)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(41)	(0.387)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.011)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	6	0.058	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(投 資 信 託 受 益 証 券)	(6)	(0.058)	
有 価 証 券 取 引 税	0	0.000	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(投 資 信 託 受 益 証 券)	(0)	(0.000)	
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(0)	(0.000)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	67	0.627	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

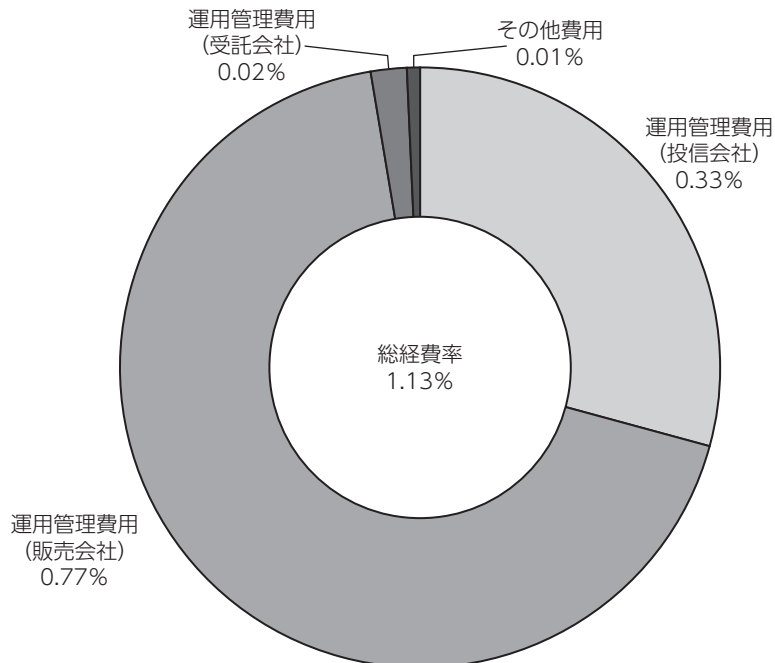
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.13%です。

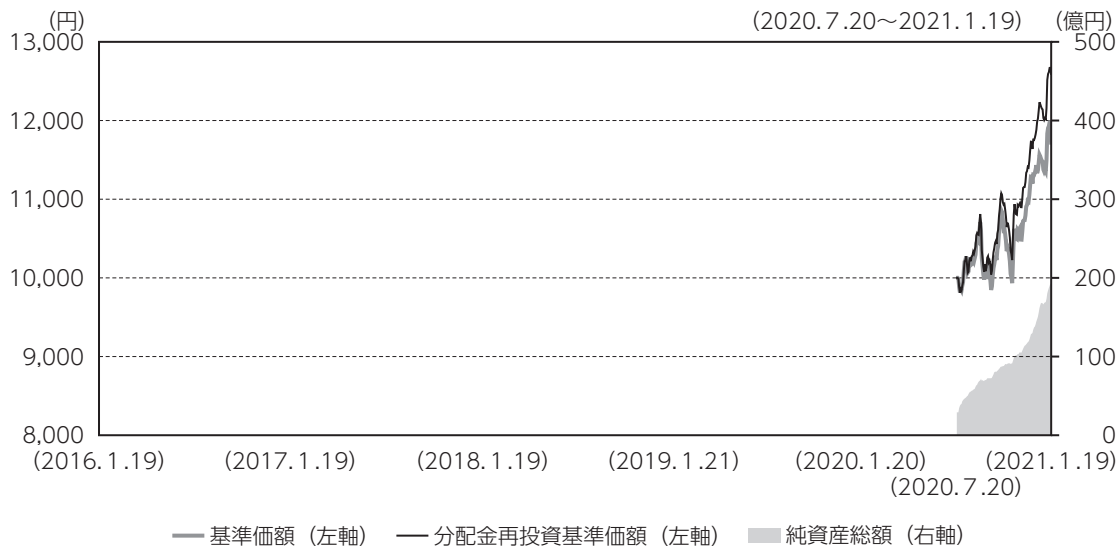


(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

最近5年間の基準価額等の推移について



		2020年7月20日 設定	2021年1月19日 決算日
基準価額	(円)	10,000	11,694
期間分配金合計 (税込み)	(円)	—	800
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	—	25.8
純資産総額	(百万円)	2,908	19,116

(注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

(注2) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

投資環境について

(2020.7.20~2021.1.19)

■グローバル株式市況

グローバル株式市況は上昇しました。

グローバル株式市況は、当作成期首より、経済指標の改善を受けた世界的な景気回復期待や米国の追加景気対策への根強い期待から上昇しました。2020年9月以降は、米国での追加経済対策法案の早期成立期待の後退や、新型コロナウイルスワクチン開発の停滞、欧州における感染再拡大や一部行動制限措置の再施行などを受けて下落しました。11月以降は、米国大統領選挙の結果に対する不確実性が後退したこと、米国や英国においてワクチン接種が始まったことなどを受けて上昇基調となりました。

■為替相場

為替相場は、米ドルが下落（円高）した一方、ユーロなどは対円で上昇（円安）しました。

当作成期首より、米中関係の悪化などから米ドルは対円で下落しましたが、2020年8月には新型コロナウイルスに関する懸念が和らぎ、市場のリスク選好度が高まったことで円安となりました。9月以降は、感染再拡大などから市場のリスク回避姿勢が強まり、円高となりました。11月以降は、米国の追加経済対策を受けた財政赤字の拡大観測や金融緩和政策の継続を背景に、米ドルは対円で下落基調となりました。

ユーロなどは、新型コロナウイルスのワクチン接種が始まったことや英国とEU（欧州連合）の通商交渉の進展などから市場のリスク選好度が高まったことで対円で上昇しました。

ポートフォリオについて

(2020.7.20~2021.1.19)

■当ファンド

「Society 5.0関連株マザーファンド」の受益証券を通じて、Society 5.0（※）をテーマに日本を含む世界の株式を投資対象とする複数の投資信託証券に投資し、信託財産の成長をめざして運用を行いました。

■Society 5.0関連株マザーファンド

当ファンドにおける投資信託証券の選定および組入比率の決定にあたっては、以下の方針を基本として運用を行いました。

- イ. Society 5.0に合致する投資信託証券を選定し、投資対象の投資信託証券としました。
- ロ. Society 5.0を「支える技術（デジタル基盤技術等）」「健康的な暮らし（医療等）」「便利な暮らし（省力化等）」「豊かな暮らし（消費・サービス等）」の4つのコンセプトに分け、それぞれの成長性を考慮して、各コンセプトへの投資配分を決定しました。
- ハ. 投資対象の投資信託証券の中から、成長性を考慮して組入投資信託証券を選定し、各コンセプト

内における投資配分を決定しました。

二、投資対象の投資信託証券、各コンセプトへの投資配分、組入投資信託証券およびその投資配分については、適宜見直しを行いました。

※Society 5.0とは、Society 1.0（狩猟社会）、Society 2.0（農耕社会）、Society 3.0（工業社会）、Society 4.0（情報社会）に続く、未来社会のモデルを意味する言葉です。科学技術の高度な発展を基盤として様々な困難や課題を解決し、利便性の高い社会を実現することが期待されています。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期	第6期
	2020年7月20日 ～2020年8月19日	2020年8月20日 ～2020年9月23日	2020年9月24日 ～2020年10月19日	2020年10月20日 ～2020年11月19日	2020年11月20日 ～2020年12月21日	2020年12月22日 ～2021年1月19日
当期分配金（税込み）（円）	100	100	100	100	200	200
対基準価額比率（%）	0.97	0.99	0.93	0.94	1.73	1.68
当期の収益（円）	100	—	100	0	200	200
当期の収益以外（円）	—	100	—	99	—	—
翌期繰越分配対象額（円）	173	67	617	487	1,331	1,693

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期	第6期
(a) 経費控除後の配当等収益	0.00円	0.00円	0.00円	0.00円	0.00円	0.00円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	✓ 267.41	0.00	✓ 588.04	✓ 0.88	✓ 896.69	✓ 506.71
(c) 収益調整金	5.69	38.78	104.12	162.35	386.21	638.00
(d) 分配準備積立金	0.00	✓ 128.62	25.01	✓ 423.86	248.18	749.07
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	273.11	167.41	717.18	587.09	1,531.10	1,893.79
(f) 分配金	100.00	100.00	100.00	100.00	200.00	200.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	173.11	67.41	617.18	487.09	1,331.10	1,693.79

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「Society 5.0関連株マザーファンド」の受益証券を通じて、Society 5.0をテーマに日本を含む世界の株式を投資対象とする複数の投資信託証券に投資し、信託財産の成長をめざして運用を行います。

■Society 5.0関連株マザーファンド

当ファンドにおける投資信託証券の選定および組入比率の決定にあたっては、以下の方針を基本として運用を行います。

- イ. Society 5.0に合致する投資信託証券を選定し、投資対象の投資信託証券とします。
- ロ. Society 5.0を「支える技術（デジタル基盤技術等）」「健康的な暮らし（医療等）」「便利な暮らし（省力化等）」「豊かな暮らし（消費・サービス等）」の4つのコンセプトに分け、それぞれの成長性を考慮して、各コンセプトへの投資配分を決定します。
- ハ. 投資対象の投資信託証券の中から、成長性を考慮して組入投資信託証券を選定し、各コンセプト内における投資配分を決定します。
- ニ. 投資対象の投資信託証券、各コンセプトへの投資配分、組入投資信託証券およびその投資配分については、適宜見直しを行います。

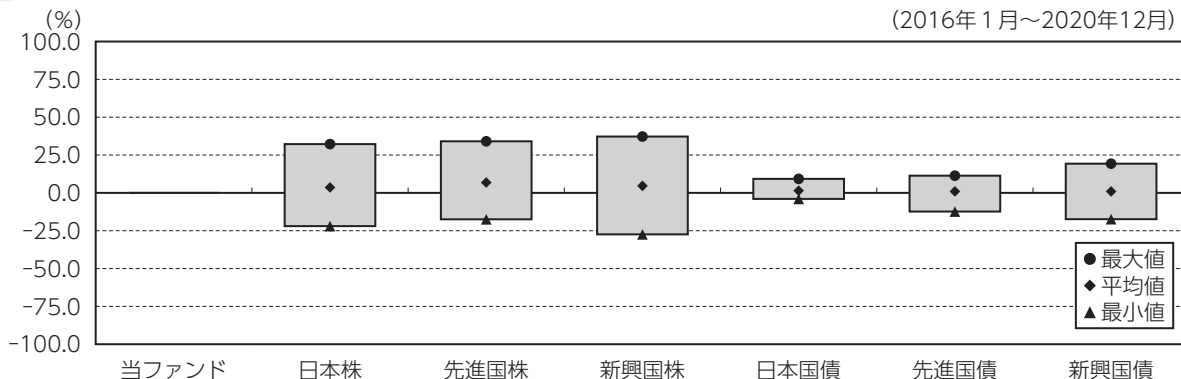


当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	約5年間（2020年7月20日～2025年7月18日）	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	Society 5.0関連株マザーファンドの受益証券
	Society 5.0関連株マザーファンド	Society 5.0をテーマに日本を含む世界の株式を投資対象とする複数の投資信託証券
マザーファンドの運用方法	<p>①主として、Society 5.0をテーマに日本を含む世界の株式を投資対象とする複数の投資信託証券に投資し、信託財産の成長をめざします。</p> <p>※Society 5.0とは、Society 1.0（狩猟社会）、Society 2.0（農耕社会）、Society 3.0（工業社会）、Society 4.0（情報社会）に続く、未来社会のモデルを意味する言葉です。科学技術の高度な発展を基盤として様々な困難や課題を解決し、利便性の高い社会を実現することが期待されています。</p> <p>②投資信託証券の選定および組入比率の決定にあたっては、以下の方針を基本とします。</p> <p>イ. Society 5.0に合致する投資信託証券を選定し、投資ユニバースとします。</p> <p>ロ. Society 5.0を「支える技術（デジタル基盤技術等）」「健康的な暮らし（医療等）」「便利な暮らし（省力化等）」「豊かな暮らし（消費・サービス等）」の4つのコンセプトに分け、それぞれの成長性を考慮して、各コンセプトへの投資配分を決定します。</p> <p>ハ. 投資ユニバースの中から、競争優位性等を考慮して投資信託証券を選定し、各コンセプト内における投資配分を決定します。</p> <p>ニ. 投資ユニバース、各コンセプトへの投資配分、投資を行なう投資信託証券については、適宜見直しを行ないません。</p> <p>③投資信託証券の組入比率の合計は、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。</p> <p>④為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>	
分配方針	<p>分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、下記イ. およびロ. に基づき分配します。</p> <p>イ. 計算期末の前営業日の基準価額（1万口当り。既払分配金を加算しません。以下同じ。）が10,000円未満の場合、原則として、分配は行ないません。</p> <p>ロ. 計算期末の前営業日の基準価額が10,000円以上の場合、原則として、分配対象額の範囲内で、当該基準価額に応じ、下記の金額（1万口当り）を分配することをめざします。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。</p> <p>(a) 10,000円以上11,000円未満の場合…100円 (b) 11,000円以上12,000円未満の場合…200円 (c) 12,000円以上13,000円未満の場合…300円 (d) 13,000円以上14,000円未満の場合…400円 (e) 14,000円以上の場合 …500円</p> <p>なお、当該計算期末に向けて基準価額が急激に変動した場合等には、上記の分配を行なわないことがあります。</p>	



代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	—	32.2	34.1	37.2	9.3	11.4	19.3
平均値	—	3.6	6.8	4.6	1.4	1.0	1.0
最小値	—	△22.0	△17.5	△27.4	△4.0	△12.3	△17.4

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

- ①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。
- ②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。
- ③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※資産クラスについて

日本株……………東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI国債

先進国債……………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●TOPIXは東証が算出・公表し、指数値、商標など一切の権利は株式会社東京証券取引所が所有しています。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。●NOMURA-BPI国債は、野村證券株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村證券株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。



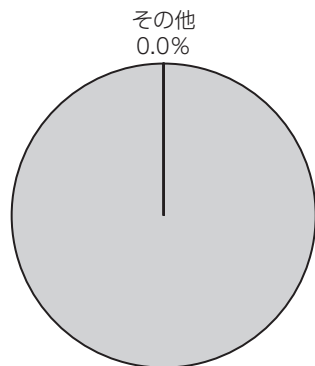
ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

組入ファンド等

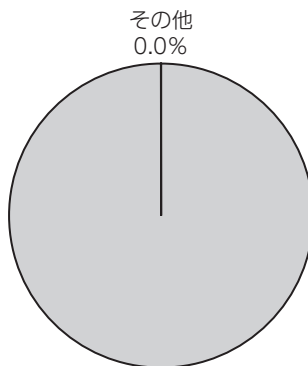
	比率
Society 5.0関連株マザーファンド	100.0%
その他	0.0

資産別配分



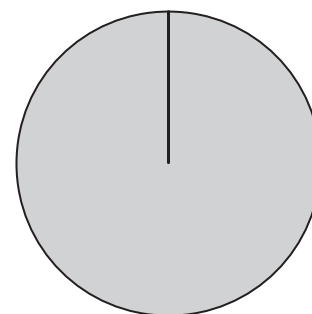
マザーファンド
100.0%

国別配分



日本
100.0%

通貨別配分



日本・円
100.0%

(注1) 上記データは2021年1月19日現在のものです。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

※当ファンドは、上記組入ファンドを通じて実質的な運用を行っています。次ページの「組入上位ファンドの概要」には、組入上位3ファンドまでのファンドの内容を掲載しています。

純資産等

項目	第1期末	第2期末	第3期末	第4期末	第5期末	第6期末
	2020年8月19日	2020年9月23日	2020年10月19日	2020年11月19日	2020年12月21日	2021年1月19日
純資産総額	5,653,748,804円	7,245,230,345円	8,781,299,359円	10,479,412,569円	14,746,080,814円	19,116,997,949円
受益権総口数	5,557,539,880口	7,232,414,639口	8,270,838,948口	9,992,672,962口	13,013,811,372口	16,347,985,373口
1万口当り基準価額	10,173円	10,018円	10,617円	10,487円	11,331円	11,694円

* 当作成期間（第1期～第6期）中における追加設定元本額は13,574,663,470円、同解約元本額は135,351,622円です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

組入上位ファンドの概要

◆Society 5.0関連株マザーファンド

12ページをご参照ください。